

JFEスチールグループ企業戦略 ⑫

JFEシビル

JFEシビルは、鉄鋼メーカーをバックグラウンドに持つ鋼構造を得意とするメーカーゼネコン

“として、確かな技術力とJFEブランドへの信頼感を軸に存在感を高めている。中期計画では連結売上高1千億円、経常利益50億円と意欲的な目標を設定。「高い目標に向けて計画・実行することが大事」(幹部)。実際、初年度となる15年度は受注・利益共に17年度の定量目標に迫る勢いで、16年度は売上高800億〜900億円、経常利益は1年前倒しで50億円を

目指していく方針だ。同社は、大型物流施設建設やシステム建築「メタルビル」を活用した生産施設や商業施設建設、JFEスチールの製鉄所修繕などを中心に事業を展開。「特色あるゼネコンとして存在感を高めた」と(藤井社長)とする。建設業はど

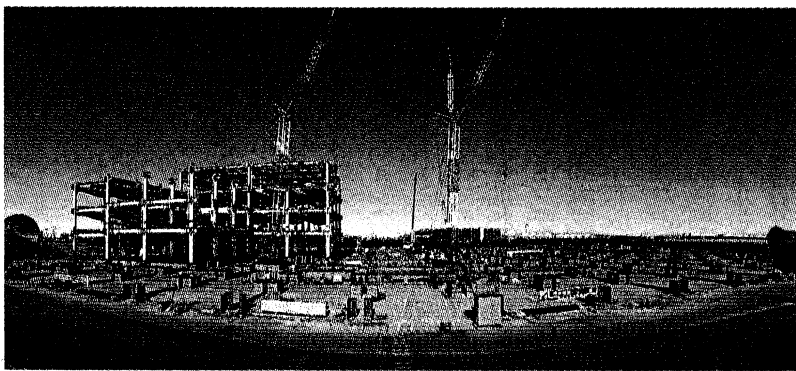
うしても狩猟型になりがちだが、安定した経営を実現し中計を達成

の中で設計ノウハウや品質管理の

ポイントも蓄積され収益率の改善

また、システム建築事業では省

インフラ整備事業、新たな柱に



「ヨドバシカメラアッセンブリーセンター川崎拡張工事」など大型物流施設建設で存在感を高めている

ルビル」がエンジニアリング企業やゼネコンの設計・施工要員不足を解消可能で、この分野での受注拡大を目指し継続的なパートナードの幅を広げた。フィリピンの現地法人、リオフィルでも

売上高50億円を安定的に実現できるよう、継続顧客になり得る財閥系企業やグローバル企業からの受注に注力している。さらに、国土強靱化施策が進展する中で大きな課題となる橋梁の耐震化は今後の需要増加が見込まれている。同社では鉄鋼土建事業で培ったノウハウを生かし、こうした

需要を捕捉。13年度にはインフラ整備事業チームを立ち上げ大学の研究室と共同で「橋脚制震タンパ

「重要継続顧客」増やす

- ▽所在地―東京都台東区蔵前2丁目17番4号(JFE蔵前ビル5F)
- ▽代表者―藤井善英社長
- ▽資本金―23億円
- ▽従業員数―661人(15年3月末現在)
- ▽売上高―71.6億円(14年度連結)

より人手不足を補っていく。『BIM』の導入も確実に進め設計の効率化を進める。製鉄所の土建機能を担う中でJFEスチールが積極的に進める老朽更新工事に対応できるように、要員や協力会社の確保を図ることが「JFEスチールに対する使命」(同)。また、JFEグループの材料や製品を積極活用すると共に、建設案件の発注や紹介などでシナジー効果を発揮。鋼材や鋼構造に関する商品開発でも、JFEスチールの建材センターを始めとするJFEグループ各社と共同研究を進めるなど連携を深めている。(村上 倫)